

吉田財団設立40周年記念事業

令和7年度 教材活用状況報告書

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉修一 殿

学校名	福岡県立三井高等学校
学校長名	辰島 秀洋
報告者	鵜澤 洋
寄贈品	1.ポスタープリンター
《 振り返り 》	
教育的課題	1.個別最適な学び及び協働的な学びの実施が不十分である。 2.体育館など広いスペースでの ICT 機器の使用が難しい。 3.教室以外での ICT 機器の使用が難しい。
教材活用の狙い	1.大きな資料を生徒に提示できる。 2.ICT 機器が設置されていない場所で使用する大きな提示物を作成できる。 3.協働的な学びを実践する広いスペースで使用する大きな提示物を作成できる。
目的達成の為の工夫	1.授業のポイント事項を大きなサイズにし、生徒の理解を促す。 2.提示物の提示の仕方や説明を工夫し、生徒の視覚的理解を促す。 3.広いスペースでの説明で、大きなサイズの提示物を活用し、理解を促す。
《 教材活用の効果・成果 》	
活用状況及び、教育的課題の解決状況	1.授業や学校行事等で使用する提示物や掲示物の作成が容易になった。 2.ICT 機器が使用できない場所や体育館など広いスペースで使用する提示物が容易に作成できるようになったため、生徒の理解度の高まりや授業における知的好奇心の高まりが見られている。 3. ICT 機器が使用できない場所や体育館など広いスペースで使用する提示物が容易に作成できるようになったため、協働的な活動ができる環境づくりに繋がった。
対象者・利用頻度	1.教師：一か月に2～3回程度。 2.生徒会などの生徒：月に2～3回程度。
目的達成状況	1.大きく見やすい提示物の作成が、容易になった。 2.ICT 機器が使用できない場所での学習が充実してきた。
教育的効果についての所見等	大きなサイズの掲示物等の学習資料を生徒に提示できるようになったことは、ICT 機器が使用できない場所や広いスペースの場所でも生徒の理解を促すために効果があり、大きな教育的効果があった。今後は、ポスタープリンターの活用で、本校の教育的課題の一つである個別最適な学び及び協働的な学びをさらに充実させたい。

活用状況の写真等(当日の様子など)



今後の活用見通し・課題

今後も、ICT 機器が使用できない場所や広いスペースの場所において、生徒の理解を促すためや協働的な学びを充実させるため、今回寄贈していただいたポスタープリンターをさらに活用していきたい。今後の課題は、個別最適な学びにポスタープリンターを有効活用していくことである。